



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4484 号 2018.7.13 発行

### 「いろえんぴつ」主力商品強化へ 松山の障害者事業所、洋酒に合うクッキーを開発

愛媛新聞 2018年7月12日



洋酒に合うクッキー「Utageno (ウタゲノ)」を手にするいろえんぴつの利用者と職員=3日、松山市辻町  
チーズベースで伊予柑ピールなどをトッピングした3種類の



#### クッキー

松山市辻町の障害者多機能型事業所「いろえんぴつ」がこのほど、洋酒に合う大人向けクッキー「Utageno (ウタゲノ)」を開発。今月下旬から同事業所運営のパン店などで販売する。

NPO法人花が運営するいろえんぴつでは、身体、知的、精神障害のある利用者が菓子やパンなどを作り販売してきた。

洋酒に合うクッキーは県障がい者工賃向上技術支援員派遣事業の一環で、「福祉事業所が作る安いイメージのクッキーから抜け出した高級感のある商品を開発し、主力商品の強化を図りたい」と昨秋から構想を練った。

チーズをベースにしたクッキーで、ゴルゴンゾーラチーズのプレーン▽クリームチーズに伊予柑(かん)ピールをトッピング▽チェダーチーズにベーコンを練り込み天日海塩をトッピングの3種類。ネーミングやパッケージはプロのデザイナーに依頼した。

事業所の職員と利用者2人がクッキーを製造している。同事業所生活支援員の徳永朋子さん(38)は「見た目が均一になるように、焼きや型抜きが得意な利用者で作っている。酒宴をさらに楽しくする商品になるとうれしい」と話す。

ウタゲノは1箱8枚入り400円。20~22日に松山市堀之内の城山公園で開かれる「松山BEERフェスタ2018」で初披露し販売。その後、いろえんぴつに併設のパン店「COPAN(コパン)」(平日営業)で販売する。

### 佐賀市のNPO、高齢者に働く場提供 交流、生きがい育む食堂に

佐賀新聞 2018年7月12日

NPO法人「たすけあい佐賀」は、佐賀市内2カ所で高齢者が有償ボランティアで働く食堂を運営している。時代情勢の変化に応じ、廃止することになった宅老所や障害者就労

支援施設を衣替えした。高齢者に活躍の場を提供しながら、バンド演奏やアート教室も開き、さまざまな世代の人の交流の場にもなっている。



毎週水曜に営業している「よってこサロン」。以前は障害者就労支援施設A型事業所だった＝佐賀市唐人町  
毎週火曜にオープンしている「たすけあい食堂」。以前は宅老所だった＝佐賀市柳町

唐人の「よってこサロン」は、4月に開店した。毎週水曜正午から午後5時まで営業している。働いているのは有償ボランティアの女性たち



で、年齢の中心は60～70代。生きがいや健康づくりを目的に働いている人が多い。同NPO法人は昨年5月、柳町に同様の食堂をオープンした。毎週火曜に営業している。いずれもランチを提供している。

よってこサロンは、以前は障害者就労支援施設A型事業所だった。昨年4月の指定基準厳格化の影響で経営が難しくなり、今年3月末に廃止した。同NPOが運営していた宅老所はピーク時は7カ所あったが、現在は1カ所だけになっている。柳町の宅老所は2016年10月に閉所していた。

音楽演奏やお菓子作り、読み聞かせ会などのイベントを開き、さまざまな世代の交流拠点となるよう努めている。高齢者が定期的に働く場所を提供する狙いもある。

約10人の有償ボランティアが登録。得意なことに応じて調理や給仕など分担している。唐人町の店舗で働いている女性(75)は「募集チラシを見てやってみたいと思った。いろんな人と触れあえるので、働くのはやっぱり楽しいですね」と話す。

同NPOの原田裕子さんは「宅老所とA型事業所を廃止することになったが、別の形で交流ができる場所にしたいと考えた。さまざまな世代の人が気軽に集まって楽しむ場所にしたい」と話す。

胸に入れ墨、仲間を鑑別所へ 言葉吐き出す福祉ラッパー 朝日新聞 2018年7月12日



Lot FALCONこと長谷川貴大さん＝上田潤撮影  
福祉ラッパー 長谷川貴大さん(27)

午前1時、オールナイトで盛り上がる名古屋・栄のクラブ。グラス片手に腕を振る若者たちに言葉を投げる。「障害があってもな

くても、すべての人が生きやすい世界を築いていきたい」

愛知県小牧市出身。高校を中退して不良仲間とつるみ、胸や背中に入れ墨をした。まじめな兄への引け目、厳しい母への反発。「人生をあきらめかけていた」。仲間がみな鑑別所に入り、遊ぶ相手がいなくなってラップを始めた。

20歳のとき、求人広告で見た障害者支援施設に連絡すると、中卒の自分を雇ってくれた。知的障害や身体、精神の障害がある人たちと過ごして、「俺たちと何も変わらない」と感じた。



障害という言葉の壁に囲まれた「閉ざされた福祉」を「もっと開かれた福祉にしたい」。Lot（ロット） FALCON（ファルコン）の名で活動し、3年前からは毎年、12月の障害者週間にアルバムを発表する。障害者を対象にラップ教室も開く。「ラップは感情をそのまま伝えられる。リズムカルに言葉を吐き出すことで誰もがハッピーになれる」

いまは高齢者施設で働きながら、障害者の作業所を立ち上げる準備を進める。来春には通信制高校も卒業する予定だ。「人生は1回きり。限られた命で何ができるのか」。ラップで社会に訴える。それは自分への問いでもある。（大久保真紀）

## 障害者雇用「業務見直しにつながる」 中小企業経営者らが研修会

東京新聞 2018年7月12日

障害者雇用に取り組む企業の担当者と意見交換をする参加者＝川崎区で



川崎市内の中小企業の経営者や採用担当者が集まる「市障害者雇用促進ネットワーク会議」の研修会が十一日、川崎区内で開かれた。約五十人が参加し、県職員や障害者を雇用している市内外の企業の採用担当者から話を聞いた。

県障害者雇用促進センターの野本史男・雇用促進課長が、障害者雇用促進法に基づく合理的配慮の内容は障害者一人一人異なる、などと説明。障害の特性に応じた仕事を創出することで「従業員の意識改革、業務の見直しにつながる」と話した。

社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム（中原区）の副施設長は、介護職員として雇用した三人の精神障害者が職場に定着するまでの過程や支援手法について紹介した。採用担当者を囲んでグループトークもあり、参加者から「障害者の採用に社内から反対はなかったか」「本人の障害についてどこまで社員に説明しているか」などの質問が出た。

同会議は障害者雇用についての情報交換や仲間作りを目的に県中小企業家同友会の呼び掛けで昨年発足。次回は九月十九、二十七日の両日、市内の特別支援学校で就労に向けた技能を身に付ける授業を見学する。先着各十人。申し込みは、事務局の市障害者雇用・就労推進課＝電044（200）2457＝へ。（小形佳奈）

## アビリンピック 県内障害者80人、働く技能を競う /山形

毎日新聞 2018年7月12日

障害者が日ごろ培った技能を競う「アビリンピックやまがた」が10日、山形市平久保の山形ビッグウイングで開かれ洋裁やビルクリーニング、喫茶サービスなど15種目で作業のスピードや正確性を競った。

アビリンピックは「障害者技能競技大会」の愛称。企業で働いたり、社会福祉施設や養護学校などに通ったりしている県内の約80人が参加した。大会は16回目で、各種目で高い技能を評価されて最上位の「優秀賞」を獲得すると、11月に沖縄県で開かれる全国大会に出場する。

梱包（こんぼう）作業の速さなどを競う「製品パッキング」で優秀賞に輝いた新庄市の高野叶夢（かなむ）さん（21）は「昨年の全国大会は銅賞（3位相当）だったので、今年は銀賞以上を獲得したい」と語った。【松尾知典】

## 障害者にわいせつ容疑で元職員逮捕 四街道署

千葉日報 2018年7月12日

勤務していた四街道市内の障害者介護施設で、身体に重度の障害があり抵抗できない女性（20）の体を触ったとして、四街道署は11日、準強制わいせつの疑いで香取市谷中、

自称無職、大橋政典容疑者（21）を逮捕した。

逮捕容疑は6月24日夜から25日未明、同施設にショートステイで入所していた女性の部屋に入り、体を触るなどのわいせつな行為をした疑い。

同署によると、大橋容疑者は当時、援助士として施設に勤務。容疑を認めている。同26日に女性と家族が同署へ被害届を提出し、捜査していた。

### 三田・長男おり監禁 父親、地裁の猶予判決が確定 神戸新聞 2018年7月12日

兵庫県三田市の自宅で木製のおりに障害がある長男（42）を閉じ込めたとして監禁罪に問われた被告の父親（73）を懲役1年6月、執行猶予3年とした神戸地裁判決が12日、確定した。被告、検察側がともに期限までに控訴しなかった。

兵庫県内の障害者らでつくる「自立生活センター三田」と「リメンバー 7・26 神戸アクション」は判決後の今月3日、神戸地検に控訴を求める嘆願書を提出。「リメンバー」発起人の吉田明彦さん（56）は「きちんと真相を解明し、責任の所在を明らかにすることが再発防止につながるのに、不十分な審理と判決でうやむやになった。上級審で審理してほしい」と話す。

神戸地検の勝山浩嗣次席検事は「本件の罪質や他の事案との比較において、判決には控訴して是正を求めるべき点はないと判断した」としている。

### 重度障害を理由に地元小学校就学認めず...「拒否は違法」児童本人と両親が提訴

読売新聞 2018年7月12日

重度の障害がある児童に地元の小学校への通学を認めず、県の特別支援学校を指定したのは違法だとして、川崎市の男児（6）と両親が11日、川崎市と神奈川県を相手取り、地元の小学校への就学を求めて横浜地裁に提訴した。

2013年に成立した障害者差別解消法では、障害を理由とした差別的扱いを禁じ、文部科学省は就学先の決定について「本人・保護者の意見を最大限尊重する」と通知している。弁護士によると、同法施行後、就学先の指定を巡って行政の違法性を問う訴訟は初めて。

訴状などによると、男児は難病の先天性ミオパチーで、人工呼吸器を使って生活。両親は昨年11月、市教委に地元の小学校への入学を求めたが、市教委は今年2月、「県の特別支援学校での専門的な教育が適切だ」とし、県教委が3月、特別支援学校への就学を指定した。

### 西武鉄道、所沢駅に難聴者向けスピーカー 日本経済新聞 2018年7月12日

西武鉄道は所沢駅の改札内に難聴者向けの「ミライスピーカー」を導入した。湾曲した振動板を使った特殊なスピーカーで、広い範囲に音を届けられるという。大画面モニターのある休憩スペースに設置し、西武ライオンズの試合のパブリックビューイング（PV）などで使う。新たな設備導入で、音のバリアフリー化を進める。

実証実験で難聴者から「聞き取りやすい」という声があったため設置を決めた。このスピーカーは空港などでも活用されているという。

西武鉄道は駅利用者を対象に、駅で見かけた障害者のサポート方法を学ぶ講習を開くなど、駅のバリアフリー化に取り組んでいる。

### JR東など アプリ開発へデータ提供 駅構内スムーズ移動

毎日新聞 2018年7月12日

首都圏の公共交通機関が乗換駅の構内図や運行情報などをオープンデータとしてIT企業らに公開し、混雑した駅などでもスムーズに移動できるスマートフォンのアプリ開発を目指すことになった。小田急電鉄、京王電鉄、東京地下鉄、東京都交通局、JR東日本など56団体で組織する「公共交通オープンデータ協議会」と国土交通省が、データをIT企業らに無償で提供する。

東京都心の東京駅、新宿駅などには複数の鉄道会社やバス会社が乗り入れているが、これまでは駅構内の改札やエスカレーターなどの位置を示す駅構内図はコンピューターが判読できるデータとして公開されていなかった。このため地下鉄駅周辺の地下街はグーグルマップなどに記載のないエリアがあり、スマホの経路検索サービスを使っても他社路線への乗り換えや駅周辺施設への移動案内が分かりにくかった。

今回は国交省が鉄道会社から主要駅の駅構内図や施設情報の提供を受け、IT企業らにデータとして公開する。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け東京都心は混雑が予想されるため、国交省と公共交通機関はIT企業と連携し、外国人や障害者が電車やバスなどで都心をスムーズに移動できる新しいアプリを共同で開発する必要があると判断した。【川口雅浩】

## 姫路城 VRで空から 非公開エリア歩く「体験」も スマホをゴーグルに装着 市が導入 /兵庫 毎日新聞 2018年7月12日



VR技術を使った映像を見られる「ヘッドマウントディスプレイ」＝姫路城で、幸長由子撮影

姫路市は今年から、仮想現実（VR）技術を活用し、世界遺産「姫路城」を空から眺めたり非公開エリアを歩いているような疑似体験ができるサービスを導入した。専用アプリを起動させたスマートフォンを専用のゴーグル型の「ヘッドマウントディスプレイ」に装着、レンズをのぞくと立体映像が楽しめる。

凸版印刷（東京都）が開発したアプリ「ストリートミュージアム」を活用。松本城や熊本城、江戸城や世界遺産の富岡製糸場といったさまざまな史跡で導入されて

いるという。

姫路城で公開される映像は、桜が満開となった城を空から眺めた映像など6種類。城上空から見た映像は、顔の向きを変えると、同調して映し出される景色も変わり、空を飛んでいるような感覚になる。大天守内の「厠（かわや）」や「口の渡櫓（わたりやぐら）2階」など非公開エリアも360度見渡しながらか歩いているような映像が見られる。

高齢者や障害のある観光客の中には、段差が多い城内部の見学を諦める人もおり、担当者は「このシステムで内部を体験してもらえると期待。また、一度視聴した動画は城を去った後も繰り返し見られるといい、担当者は「観光客に持ち帰ってもらい、他の人に見せて魅力を伝えてほしい」と話していた。

アプリは無料。ヘッドマウントディスプレイは800円、入城口横の見学資料室で販売している。問い合わせは城管理事務所（079・285・1146）。【幸長由子】

## 古寺を改築 交流拠点に 自然の中、衣食住学び合う 小松の山元さん 中日新聞 2018年7月12日

小松市山間部の大杉町にある築百三十年の古民家が、日曜大工や染め物、パン作りなど多様な講座を開く交流拠点に生まれ変わった。古民家を買って改装し「モノの森」と名付けて運営するのは、元教諭で随筆・小説家の山元加津子さん（61）＝同市長谷町。

自作のファンタジー冒険小説の主人公から命名した。「自然の中で人が助け合い、命を太くする生き方を実践したい」（長屋文太）



（上）手作りの椅子と机があるモナの森の建物内を紹介する山元加津子さん（下）交流の場として生まれ変わったモナの森=いずれも小松市大杉町で

特別支援学校の教師時代から障害をテーマに命や個性を認め合う大切さを随筆などで発表してきた山元さんは、五十代半ばで教師を退職。障害児を取り上げたドキュメンタリー映画に出演したことから国内外で講演会も開いている。古民家は、物置になっていた古寺部分と後に増築した居宅部分からなり、計三百八十五平方メートル。山元さんが通り掛かり売りに出されているのを知って三月に購入。「空き家にするのはもったいない。自然豊かな場所で、衣食住をみんなで学び合いたい」と思ったという。



物置はしっくいをはがれ、床の間より畳が盛り上がっていた。「改築から取り組んでみよう」。山元さんはインターネットなどを使って、家の改装に興味がある人に呼び掛け、延べ六十人が参加。十五年来

の友人で、建築士の後藤文吾さん=宮城県石巻市=に協力してもらい、四～五月に四回にわけ古民家を舞台にしたリノベーション講座を開き、改装を終えた。

改築では、廃材で製作した手作りの木製机と椅子を置いた読書スペースもつくった。陽光が射し込み、川のせせらぎが聞こえる、落ち着ける空間になっている。これまで日曜大工、自然素材を使ったパン作りやワンピース作りの講座を開催。「人工的な物を減らし、自然素材をたくさん使って多くの物を手作りしたい」と山元さん。今秋以降、ウッドデッキの新設も計画。家の改装がテーマの講座や草木の染め物講座なども開く。

「モナ」は、魔女になる夢を実現するため冒険する小説の主人公。「地域住民だけでなく、全国や海外からも訪れてもらえる場所にしたい」。山元さんにとってもモナの家は冒険の拠点になっている。

## 与党、強制不妊で年内にも救済策 「同意」手術も対象視野

北海道新聞 2018年7月12日

旧優生保護法（1948～96年）下で障害者らに不妊手術が繰り返された問題で、自民、公明両党による合同ワーキングチーム（WT）は12日の会合で、救済に向けて本格的な議論を始めた。早ければ補償額や被害認定などの仕組みを年内にまとめ、超党派の議員連盟と連携して来年の通常国会での関連法案提出を目指す。

強制された場合だけでなく、形式的には本人が「同意」の上で手術を受けた場合の補償も視野に議論を進める考えだ。

与党WTの終了後、座長の田村憲久元厚生労働相は記者団に対し「最大限スピード感を持って対応していく」と述べた。

## 社説:人手不足深刻化 官民で多様な対策を講じたい 読売新聞 2018年07月12日

人手不足が深刻化し、経済成長に悪影響を及ぼし始めている。官民を挙げて、多様な対策を粘り強く講じたい。

求職に対する求人割合を示す有効求人倍率は、44年ぶりに1・6倍台を記録した。日銀の調査でも企業の人手不足感はバブル期並みだ。

最大の要因は、働き手の中心となる15～64歳の生産年齢人口が減少していることである。減少は今後も急ピッチで進む。人手不足が中長期にわたる課題であることをしっかり認識する必要がある。

産業界では、労働者不足を引き金に、企業経営が行き詰まるケースが相次いでいる。

民間の信用調査機関によると、人手不足が原因の企業倒産は2017年度、310件に上った。従業員不足や後継者の不在で、事業を継続できなくなった例が多い。自ら会社をたたむ廃業は、さらに多いとみられている。

人手不足の影響は、小売りや外食店の営業時間短縮など、サービスの低下を通じて消費者にも波及している。今春には運送業者が十分なドライバーを確保できず、希望した日時に転居できない「引っ越し難民」が問題化した。

情報技術（IT）業界の人材難も見過ごせない。先端技術の活用を掲げる政府の成長戦略にとっても足かせとなろう。

人手不足対策として喫緊の課題は、労働者1人当たりの生産性を高めることだ。

「脱時間給」などの働き方改革を進め、短時間の労働で多くの成果を得られるようにしたい。人工知能（AI）やロボットの導入など、省力化投資も有効だろう。

働き手そのものを増やす取り組みも欠かせない。

女性の就労促進に向け、待機児童問題の解消が急がれる。働く時間や条件を柔軟に選べる環境作りも求められる。

意欲のある高齢者の活用も大切だ。健康状態など個々の事情にきめ細かく対応すべきである。

外国人労働者の雇用拡大も課題となる。政府は一定の技能を持つ外国人を対象に新たな在留資格を来年4月にも設ける方針という。必要な人材の確保につながるよう、対象業種の選定や受け入れ準備に万全を期してもらいたい。

介護業務などは人手不足が深刻だが、一般事務は求職が求人を上回る。こうした雇用のミスマッチの解消も忘れてはならない。

職業訓練の充実などによって、異業種間で転職しやすい労働市場を整備することが重要だ。

## 社説:子供の家庭環境 学力向上へ生活習慣の改善を 読売新聞 2018年07月12日

日頃から規則正しい生活を促し、子供が学習に取り組みやすい環境を整えることが大切だ。

親の年収や学歴が子供の学力にどのような影響を及ぼすのか。文部科学省が調査結果を公表した。

小学6年、中学3年を対象にした昨年度の全国学力テストと、併せて行った保護者12万人のアンケートを研究者らが分析した。

国語、算数・数学の平均正答率は、親の年収が多いほど高かった。2013年の前回調査と同様の傾向にある。家庭の経済状況が学力に影響していることの表れだ。

小学6年の算数の応用力を測る問題で、家庭の年収が1500万円以上の児童の平均正答率は59%だった。200万円未満の家庭の児童は36%にとどまった。

親が高学歴の場合も、子供の正答率は概ね高い傾向にあった。

家計に余裕があれば、塾などに費用をかけやすい。子供が幼少の頃から、進学に対する親の期待が高いこともあるのだろう。

一方で、親の年収や学歴が高なくても、規則正しい生活習慣のある子供の成績は、概して良好な点にも注目したい。

「決まった時刻に起きるようにしている」「毎日朝食を食べさせている」「計画的に勉強するよう促している」。保護者アンケートで、これらの項目に当てはまる家庭の子供たちだ。

活字に接する習慣があるほど、学力が高い傾向も鮮明になった。好成绩の子供の親は、「小

さい頃、絵本の読み聞かせをした」「本や新聞を読むように勧めている」などと回答する割合が高かった。

新聞記事などの内容について、親子で話せば、社会への関心がより高まるだろう。

学校の役割も大きい。今回の調査では、家庭の経済状況にかかわらず、全体的に子供の学力が高い小中学校の特徴を分析した。教師が家庭学習をきめ細かく支援し、放課後の個別指導も手厚く行っているという共通点があった。

毎日、宿題のノートに教師が助言を書き入れて返すなど、地道な取り組みが重要である。生活指導に力を入れ、親や地域と信頼関係を築く努力も欠かせない。

教師が忙しすぎるとの指摘がある中、必要に応じて教職員を重点配置するなど、柔軟な対応が求められる。自治体やNPO（非営利組織）による放課後の学習支援活動も拡充したい。

家庭環境に目配りし、丁寧な指導で学力の底上げを図る。それが公教育の責務である。

## 社説 豪雨被災地への支援 ふるさと納税本来の出番 毎日新聞 2018年7月12日

西日本を襲った豪雨による甚大な被害を受けて「ふるさと納税」をめぐる世界に変化が起きている。

被災した市町村に対する寄付をほかの自治体が窓口となって受け付け、事務を分担するケースが相次いでいることだ。

冠水などの被害を受けた岡山県高梁市の場合、交流を続けていた茨城県筑西市が名乗りをあげた。

ふるさと納税を扱ういくつかのサイトは今回、特設の窓口を設けている。大手サイト「ふるさとチョイス」にはすでに11日夕の段階で被災した自治体に総額約2億4000万円、約1万5000件に及ぶ寄付の申し出があった。

被災した自治体のほとんどは、深刻な職員不足に直面している。そんな時に、寄付の受け付け業務を他の自治体が代行してくれれば、大きな負担軽減になる。新しい形の自治体間の支援である。

ふるさと納税は自治体に寄付した金額から2000円を除いた分が、住民税と所得税から控除される。

この制度をめぐる賛否両論が交わされてきた。自治体が高額な返礼品を競い合うことで、税収を奪い合っているためだ。

富裕層が節税対策に利用するなど、自治体を応援する目的とかけ離れたケースが出ている。税制をゆがめかねない状況である。

だが、被災地を支援するふるさと納税は、返礼品を伴わない。純粋に自治体を応援するという意味では、これこそ、本来の目的に沿った出番である。2016年の「熊本地震」の際には、30億円を超す寄付が集まった。

被災した人や地域を個人が支援する場合、金銭の寄付は現実的な手段だ。物資などの支援を個人が行うのは難しい。少しでも役に立ちたいと衣類などを送っても、逆に現地に負担をかけるおそれもある。

災害の際、赤十字や新聞社などが窓口となる義援金は、直接被災者に配分される。これに対し、ふるさと納税の寄付は被災した自治体が復旧、生活支援などにあてる。どちらも大切な支援である。

寄付文化が日本はなかなか定着しないといわれる。災害支援に多くの人が参加できる手段として、有効に活用されることを望む。

